

名取川洪水危機管理演習を実施します —沿川自治体合同による実践的な訓練を実施—

名取川を管理する国土交通省仙台河川国道事務所では、大規模災害発生時における迅速・確実な情報の収集・分析・判断、防災担当者の災害対処能力向上及び、沿川自治体との連携強化を目的とし、名取川での洪水発生を想定した「危機管理演習（ロールプレイング方式※別紙）」を実施しますのでお知らせします。

なお、本演習では地域住民の方や周辺自治体の方の見学もできますので、多くの方のご来庁をお待ちしています。

1. 日 時：平成23年1月18日（火）9：15～15：30

- ・ 事前説明等 9：15～10：00
- ・ 危機管理演習 10：00～14：00
- ・ 全体検討会、講評 14：00～15：30

（演習当日及び前日に洪水等の災害が発生するおそれがある場合は順延し、当日演習途中において地震等が発生した場合は、中止します。）

2. 場 所：仙台河川国道事務所

3. 参加機関：仙台河川国道事務所、宮城県、仙台市、名取市

総勢約 80人

4. 演習見学：演習当日は、一般の方も見学ができます。

見学希望者は、当日必ず仙台河川国道事務所2階情報センター会議室で受付してください。

発表記者会：電力記者会、県政記者会、東北専門記者会

問い合わせ先	
国土交通省 仙台河川国道事務所	
仙台市太白区郡山五丁目6-6（TEL：022-248-4131）	
河川副所長	本多 吉美（内線：204）
調査第一課長	齊藤 正道（内線：351）

平成22年度 名取川洪水危機管理演習

ロールプレイング演習について

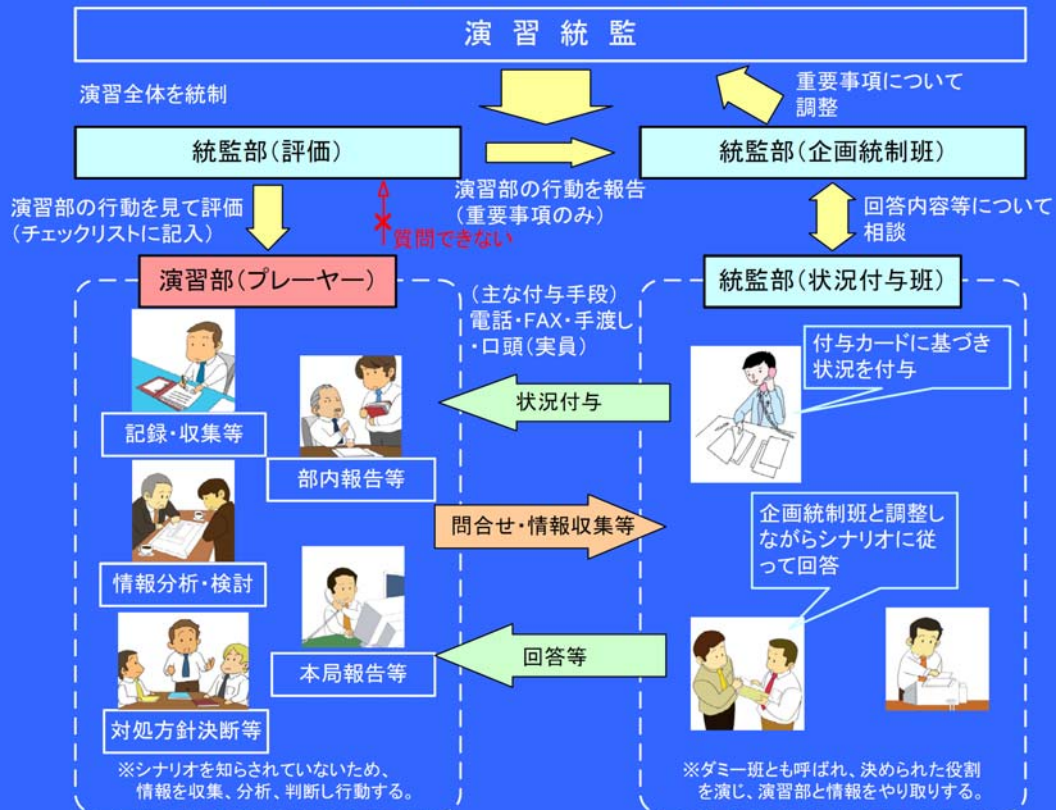
ロールプレイング方式演習とは

- 仙台市・名取市災害対策本部の運営について効果的に訓練するための演習のひとつ(図上訓練)
- 大規模災害を想定した状況(被害想定、演習シナリオ)をつくり、災害を机上で模擬体験する。
- 訓練を仕掛ける側(統監部:コントローラー)と受ける側(演習部:プレイヤー)に分かれる。
- 訓練を仕掛ける側の統監部は訓練のシナリオを知っているが、演習部(プレイヤー)は訓練のシナリオを知らされていない。
- プレイヤーは、コントローラーが演ずる各関係機関からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上、なすべき行動を決心し、指示や報告を受けるという一連の動きについて訓練する。

ロールプレイング方式による 演習の主なねらい

- ① 防災担当者の災害対処能力の向上
- ② 組織間の連携強化
- ③ 防災関係マニュアル、体制等の検証

ロールプレイング方式による演習のしくみ

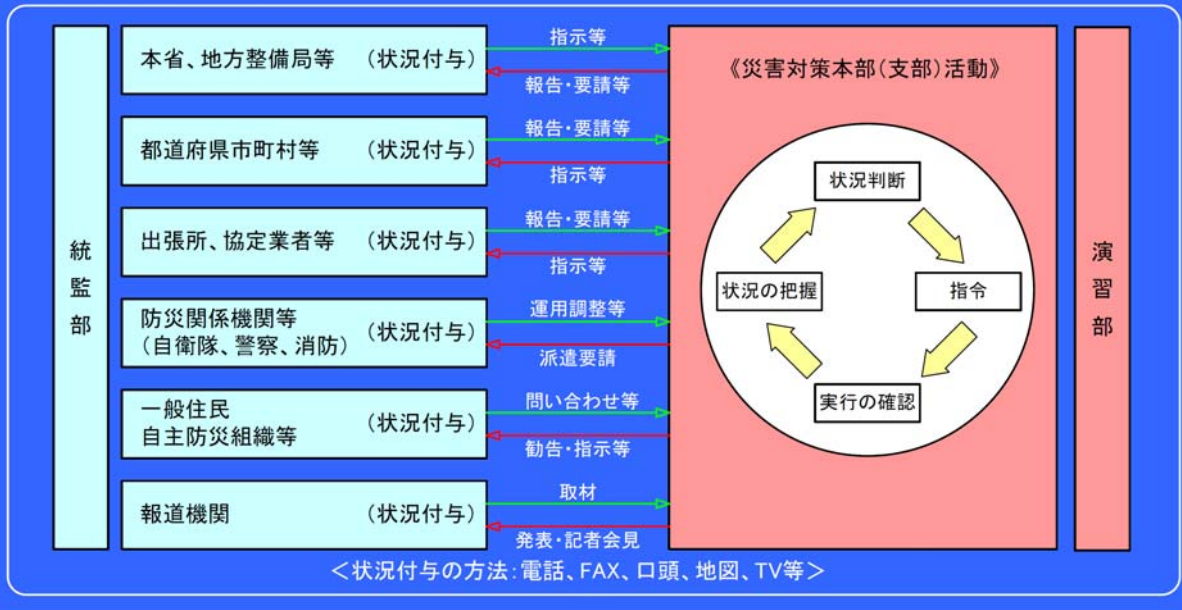


訓練の進め方

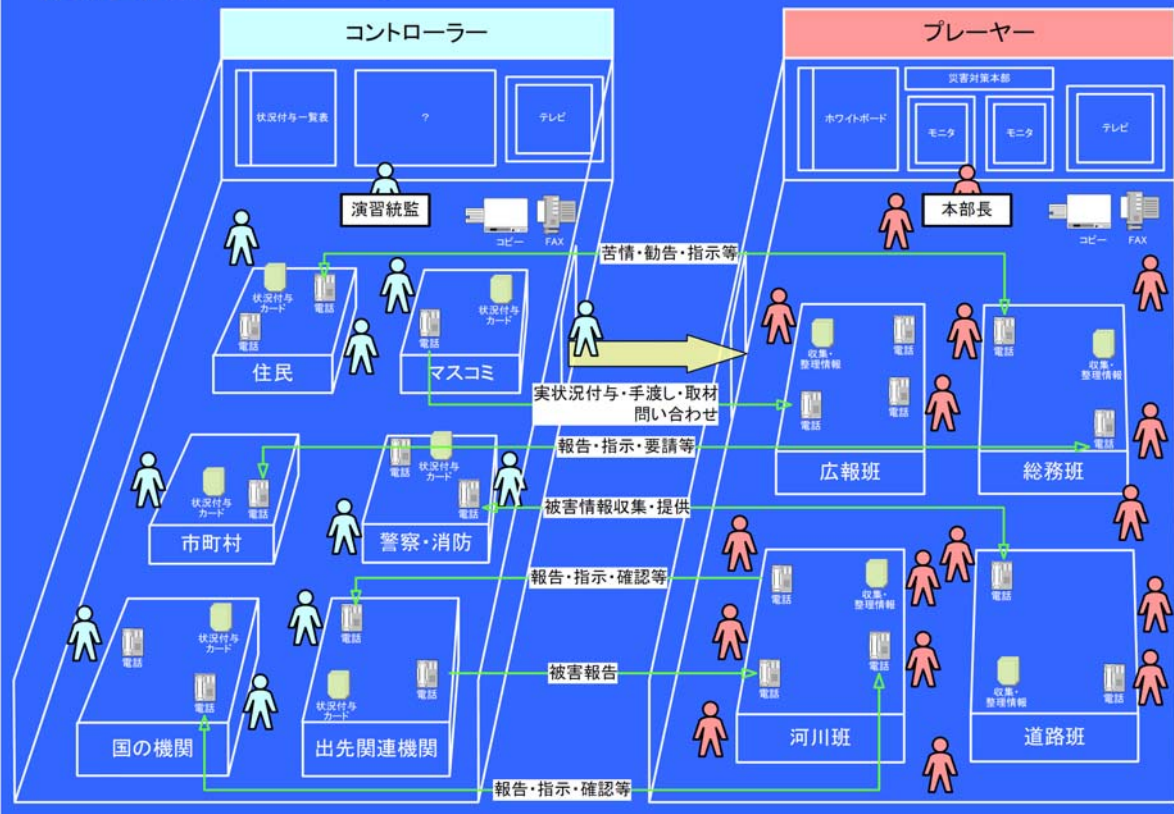
- 統監部：訓練を進行させる組織
- ・計画に基づき訓練を進行する。
 - ・被害状況や住民の動きなどの各種想定状況を演習部に対し付与する。

- 演習部：訓練を受ける組織
- ・災害対策本部・防災担当者として、統監部(ダミー)から付与される状況に基づき本部活動を実施する。
 - ・本部活動は、状況を把握し、判断し、指令し、実行を確認するという一連の活動を継続的に実施する。

【訓練の進め方のイメージ】



演習のイメージ



状況付与の手段

通常の状況付与



電話



FAX



文書の手渡し



口頭

映像による付与



TV・VTR

プラズマディスプレイ等

実員の実行動による付与



マスコミ取材・陳情・面会等

関係機関等の連絡員等

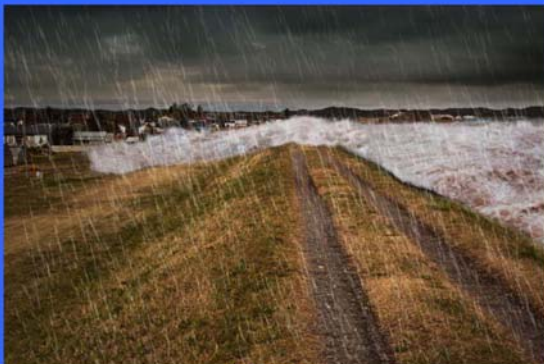
現地状況写真(模擬画像)の一例



法崩れ



内水



決壊



漏水

状況付与班からの状況付与方法等

- 演習シナリオに基づいて作成された状況付与計画に従って状況が付与される。
- 状況付与カードに記載された内容が電話・FAX等で付与される。
- プレーヤーは、コントローラー(状況付与班)へ自由に問い合わせが良い。
(コントローラーは適宜回答する)
※プレーヤー間のやりとりも自由。



演習中のやりとりの一例

(例) マスコミからの電話取材

